

## 日本物理学会学生優秀発表賞規定

2018年6月16日

実験核物理・理論核物理領域

### 経緯：

実験・理論核物理領域では第71回年次大会（2016年）よりパイロット事業として「学部学生ポスターセッション」を実施してきた。

本セッションは、米国物理学会原子核物理デビジョンで行われている学部学生向けのポスターセッション“Conference Experience for Undergraduate (CEU)”を模したものである。原子核物理領域の日米合同学会ではCEUを日米合同で実施し、発表内容もさることながら参加する学部学生の真摯な姿勢からCEUが人材育成の点で大きな役割を担っていると認識するに至った。実験・理論核物理領域は、理事会に日本版CEUを提案し、第71回年次大会（2016年）から日本物理学会の正式なセッションとして本セッションがスタートした。

例年数十名の学部学生による数多くの優れた研究成果が発表され、参加者との活発な議論が行われている。本セッションは学部学生の物理学研究への関心を高める上で大きな役割を果たしてきている。

今回、本セッションでの学部学生の発表に対して、実験・理論核物理領域による日本物理学会学生優秀発表賞の設立を申請する。この賞の設立によって学部学生の動機づけを高め、更なる研究奨励を期待することができる。

### 対象：

日本物理学会年次大会に実施される学部生ポスターセッションで登壇を行う日本物理学会学生会員の学部学生を対象とする。

### 受賞人数：

各年度3件を上限とする。

### 審査委員：

実験核物理領域代表と理論核物理領域代表が推薦する委員による審査を行う。

審査方法：

下記の２段階審査とする。

[1次審査] 各講演に対して3名ずつ審査委員を割り当て、研究内容およびプレゼンテーションの点数評価を行う。

[2次審査] 1次審査の点数をもとに審査委員の合議により受賞候補者を決定する。

表彰：

領域による審査により受賞候補者が決定した段階で仮賞状を発行し、受賞候補者に賞状を授与する。

実施時期

第74回年会大会（2019年）より開始する。